

今回の定例会

12月	3月
9月	6月

# とのしょう

# 議会だより



## 移り変わる土庄町 約70年前のおりいぶ丸(土庄港)

令和8年5月発行

第 **104** 号

議会だより

3月定例会を開催しました	2
町長の施政方針を問う	4
各委員会の活動報告	8
一般質問(7人の議員が町政を問う)	10

発行/土庄町議会 編集/議会広報特別委員会  
香川県小豆郡土庄町淵崎甲1400-2  
TEL (0879) 62-7011 (議会事務局)  
FAX (0879) 62-8303



(録画配信の視聴)



(町ホームページ/土庄町議会)

# 一般会計予算

【前年度比 6.1%減】

## 総額100億9,300万円を可決

令和8年 土庄町議会

# 3月定例会

# 議案 審議

3月定例会は3月4日に開会し、3月17日に閉会しました。  
町長の令和8年度施政方針説明の後、令和7年度補正予算6件、令和8年度予算9件、条例12件、人事案件3件、契約2件、その他2件が提出され、すべての議案を原案どおり可決しました。また、議員発議による条例1件を可決、意見書1件を否決しました。一般質問では、7人の議員が町政について質問を行いました。

こんなことに使われます

令和8年度の主な事業

子育て環境の充実を図るため、給食費・保育料の無償化を行う費用



4,063万円

充実した教育環境の確保のため体育館の空調整備を行う費用（土庄小学校工事費7,980万円・豊島小中学校設計費127万円）



8,107万円

老朽危険空き家対策を行う費用



6,403万円

豊島地区シャトルバスの利便性の向上・輸送力強化を行う費用



2,298万円

新たな担い手対策のため農業インターシップ制度の導入費用



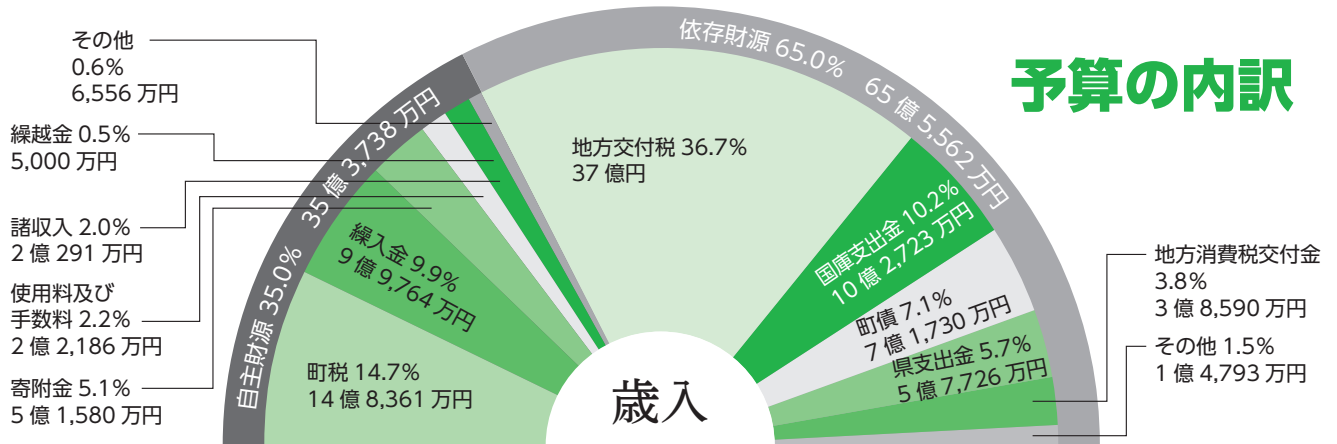
442万円

産業振興、福祉・医療の充実、安心・安全な生活、歴史と文化を大切に

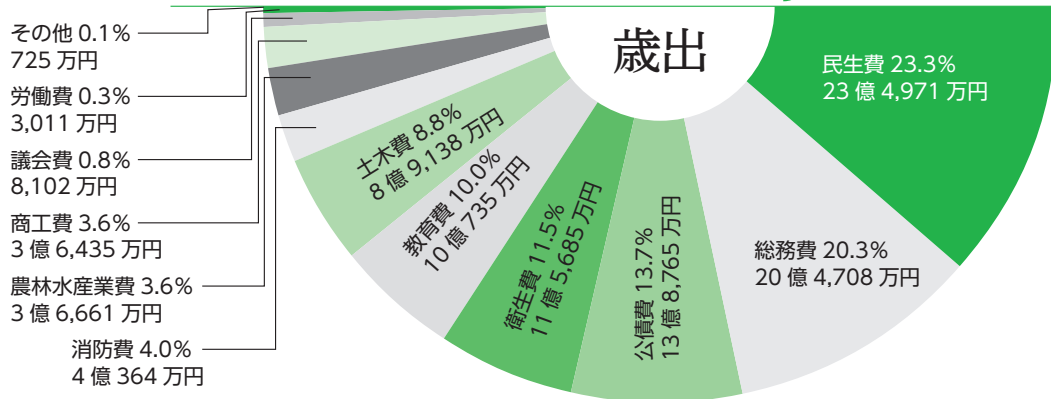
新年度  
予算

# 人と自然が輝く みんなで創る アイランドタウン とのしょう

## 予算の内訳



一般会計 100億 9,300万円



### 令和8年度特別会計予算

会計名	当初予算額	対前年度比
国民健康保険	17億 158万円	△0.8%
港湾整備	2,639万円	△2.0%
宅地造成	1,411万円	0.4%
大鐸財産区	226万円	△7.8%
介護保険	19億 9,815万円	1.3%
福祉サービス	1億 148万円	6.8%
後期高齢者医療	3億 4,448万円	14.9%

### 令和8年度企業会計予算

会計名	当初予算額	対前年度比
農業集落排水	1,591万円	7.1%

有効に  
活用しよう!



# 誰もが安心・安全に楽しく暮らせる 持続可能な土庄町へ

## 地域資源と人とで築く、 産業振興とにぎわいのまちづくり

- 官民連携による世界に選ばれる観光地づくり
- 地域資源を活用したローカルブランドの育成・強化
- 小豆2町連携にて雇用創出や就労支援による人材不足解消
- 移住定住の更なる促進



## 福祉・医療が充実し、 互いを認め合うまちづくり

- 保育料・給食費無償化による子育て環境の更なる充実
- 医療提供体制の確保維持
- 積極的介護予防や高齢者等の移動支援による健康寿命延伸
- 超短時間雇用モデルによる短時間就労の機会創出

## 自然と調和し、安全・安心に 暮らせるまちづくり

- 自助・共助・公助の推進による地域防災力の向上
- 公共交通の確保維持と移動利便性の向上
- カーボンニュートラルの推進
- 旧庁舎跡地を含めた周辺施設の利活用検討を加速

## 豊かな心と体を育み、歴史と文化 を大切にすまちづくり

- 児童生徒の習熟度に合わせた支援の充実
- 過ごしやすい学校施設の整備
- スポーツ施設の長寿命化による生涯スポーツの推進
- 文化財の保護・活用による歴史と文化の継承と振興

## 共に創る、持続可能なまちづくり

- 生産者と連携したふるさと納税返礼品のラインナップ強化
- デジタル技術による行政サービスの利便性向上
- ふるさと納税推進による自主財源の確保や民間投資の呼び込みによる行政コストの軽減

## 施政方針に対する質問

### 農林水産業の振興

《井藤茂信》一次産業は、地域経済のみならず、景観や文化、観光振興と深く結びついた基幹産業である。

農業インターンシップの実施や地域おこし協力隊の活用、小豆島産ごまの新たなブランドへの挑戦、水産業体験型ワークショップの実施など、将来を見据えた積極的な政策であると思う。

しかし、農業を取り巻く環境は依然として厳しく、担い手不足の深刻化、所得の不安定さ、生産コストの上昇など、課題も山積みである。課題を着実に克服しながら、現状を維持する「守る産業」から、付加価値を高め、稼ぐ力を強化する「伸ばす産業」と発展させていくため、町として、どのような中長期ビジョンを描いているのか。

### 《町長》ビジョンとして、第7次土庄町総合計画の中でも触れているとおり、様々な施策を複合的に講じていく必要があるが、特に大きな柱として「担い手の育成と支援」、「地域ブランドづくりの推進」の2つが重要であると考えている。

担い手の確保は喫緊の課題であり、新規就農者や認定農業者といった地域の核となる担い手への経営安定化や経営発展支援を継続することはもちろんのこと、兼業農家、マルチワーカー、多様な人材を新たな担い手と考え、初期投資の負担軽減や遊休農地の利活用促進等の補助制度を継続することで、町内外から農業経営の発展に意欲的な人材の確保に努める。

### 防災備蓄品

《鈴木美香》備蓄品の選定過程に女性の視点が必要と考えるが町長の考えは。

《町長》香川県地震津波被害想定の見直しにより、備蓄目標量も増加していることから、今後の備蓄品の拡充も必要であると考えている。備蓄品等を定める過程において、必要であれば土庄町防災会議で意見聴取を行いたい。土庄町防災会議には女性が6名おられ、女性の感性も反映できるものと考えている。会議を設けた際は、女性の意見者として鈴木議員も議会の方から選出していたら、入ってもらいたい。

# 令和8年度当初予算案の各事業について、付託審査での主な質疑・意見

## 総務建設常任委員会

### 【総務課】

地域防災力強化促進事業

《濱野》募集する地域お

こし協力隊の専門知識等

は必要ではないのか。

《総務課》防災士資格等

の条件は付けていないが、

防災の知識、経験がある

方が望ましい。そのあた

りの経歴は重視して採用

したい。

### 【建設課】

河川管理

《大野》維持管理の対応

は。

《建設課》各自治会から

改修等の要望が多くあり、

緊急度が高いものを

優先的、また計画的に進

めていくが当初予算措置

だけで全ての河川改修等

に対応できるわけではない。

### 【企画財政課】

運転免許自主返納支援

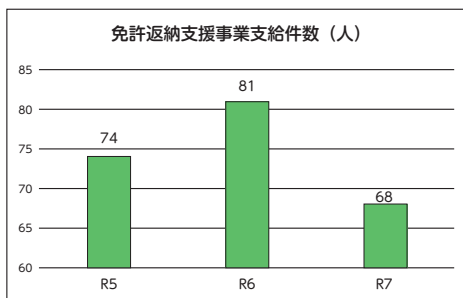
事業

《森》来年度は何名を見

込んでいるのか。

《企画財政課》75名を見

込んでいる。



### 【税務課】

宿泊税導入

《森》香川県が導入しよ

うとしている宿泊税との

すみ分けは。

《税務課》小豆二町が検

討している宿泊税の制度

内容や導入時期について

も、今後、県との調整を

行う。

### 【農林水産課】

有害鳥獣被害防止

《石井》捕獲数が減った

とのことだが、それは捕

獲対象物が減っているの

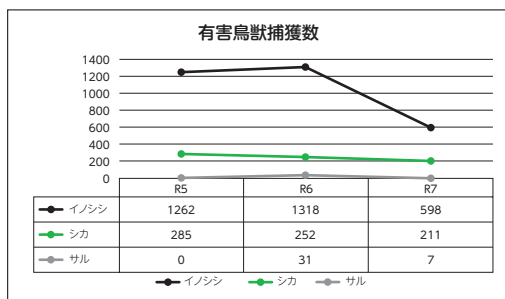
か、捕獲する人が減って

いるのか。

《農林水産課》捕獲対象

の動物が減ったものだと

考えられる。



## 教育民生常任委員会

### 【健康福祉課】

医療従事者確保対策事業

補助金

《鈴木》補助の内容は。

《健康福祉課》香川医大

に地域医療を充実させる

ための講座を設置し、地

域医療に関する研究や実

践、医師の養成等を行う

ための費用。また、医療

従事者のスキルアップ研

修に係る費用や人材確保

プロジェクトとして実施し

ている就活フェアの参加、

病院のPR動画作成等に

係る費用を補助する。

### 【教育総務課】

《鈴木》教員不足が問題

となっているが町の状況は。

《教育総務課》配置につ

いては、県の教育委員会

が実施するため分かりか

ねるが、町講師は令和7

年度と同程度、確保し

たい。

### 私立・町外保育所運営事業

《岡本》何年くらい支援

するのか。

《教育総務課》概ね3年

を目標と考えている。

### 【生涯学習課】

大坂城残石記念公園維持

管理

《宮原》駐車場の拡張の

考えは。

《生涯学習課》駐車場ス

ペースが狭いということ

が課題となっており、近

隣の土地の所有者から、

町が駐車場として利用す

るのであれば検討しても

よいと話をしていただき、不

動産鑑定を実施し、適正

な価格を算出した上で具

体的な交渉を進める。

### 個人番号カード交付事業

《鈴木》毎年、会計年度

任用職員の人件費を計上

しているが、いつまで行

うのか。

《住民環境課》マイナ

ンバーカードは一度交付した

ら終わりではなく、5年

ごとに更新が必要。病院

に行つて暗証番号のロック

がかかったと暗証番号の

再設定に求められる方もい

る。毎日のように住民の

方は来られているので対応

を継続する。その経費は

国費で賄っている。

### 【住民環境課】

老朽危険空き家除去支援

事業

《宮原》現在どのくらい

の申し込みがあるのか。

《住民環境課》待ってい

ただいているのが100

件を超えている。



大坂城残石記念公園

## 令和8年度当初予算案に関する討論

### 一般会計予算

**反対** 福本耕太議員

全体的に評価するが一部分について反対する。  
①アイランドタウン創生事業の道の駅計画は今、必要ないと考える。  
②同和事業の予算及び特定団体の思想に偏った同和教育は終結すべき。

**賛成** 川本議員

令和8年度の各事業の執行に必要かつ適正な予算が計上されていること。また、付託を受けた委員会でも審査した結果、賛成多数で承認されているので賛成する。

**反対** 鈴木議員

①セキュリティ対策に不安があるためマイナンバー関連予算に反対。  
②アイランドタウン創生事業の委託料に反対する。

### 国民健康保険事業 特別会計予算

**反対** 福本耕太議員

高い国保税を前提とした予算になっているため反対。

### 後期高齢者医療事業 特別会計予算

**反対** 福本耕太議員

75歳以上の高齢者を切り離した制度になり、医療崩壊を恐ろしがるため反対。

**賛成** 川本議員

付託を受けた委員会でも審査した結果、賛成多数で承認されているので賛成する。

可決

## 土庄町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

発議1

【提出理由】土庄町職員等の旅費支給条例（昭和30年土庄町条例第12号）一部改正に伴い、本条例の一部を改正する。

◎提出者：川本貴也 ○賛成者：小川務、福本達雄

否決

## 米国とイスラエルに対し即時停戦を求める意見書

発議2

【提出理由】2月28日、米トランプ政権はイスラエルと共に、イランに対する軍事攻撃を開始し、首都テヘランや各都市を爆撃した。この爆撃により、イランの最高指導者ハメネイ師が殺害されたほか多数の市民が死亡し、その中には小学校への爆撃による100人以上の子どもたちの犠牲も含まれる。イランも反撃をはじめ、イスラエルや米軍基地のある周辺国をミサイル攻撃し、米兵にも死者が出ている。米国とイスラエルによるイランへの先制攻撃は、国連憲章や国際法を無視した暴挙に他ならない。暴力によって屈服を迫ることは「力による現状変更」であり、国際秩序を崩壊させる行為であり、決して許される行為ではない。本議会として国連や中東各国などと協調し、米国とイスラエルに対し即時停戦を政府に強く求める。

◎提出者：福本耕太 ○賛成者：鈴木美香

討論

**反対** 小川議員

戦争に反対。外交や安全保障は本来、国が多くの情報と専門的判断のもとで対応すべき分野であり、地方議会が特定の国を名指しして非難する意見書を提出することについては、慎重であるべきである。

**賛成** 鈴木議員

戦争は悪である。アメリカとイスラエルが何の根拠もなく、一方的に攻撃したのは絶対悪であり、意見書に賛成する。

**反対** 森議員

戦争の早期終結、平和を願う思いは、皆ある。外交や安全保障は国の専権事項であり、地方議会としての関わりは、慎重にあるべきだと考える。

**賛成** 福本耕太議員

本町には土庄町非核平和都市宣言という決議がある。この立場に基づいて議会で可決すべきものである。

**反対** 岡本議員

私が調べたところ、この文章は誰かがSNSに載せている文面のままである。平和に関する意見書は非常に重いものであり、急ぐ気持ちもわかるが、借り物の言葉で済ませるのではなく、議員で協議し、責任を持つ言葉で出すべきである。

### 3月定例会の審議結果と賛否

#### ●賛否の分かれた議案

議案等	議決結果	関連ページ	岡本真澄	石井亨	宮原隆昌	森英樹	小川務	井藤茂信	大野一行	鈴木美香	福本耕太	川本貴也	福本達雄	濱野良一
国民健康保険条例の一部を改正する条例 (葬祭費の支給額を香川県内で統一することとなったため、改正する)	可決	—	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—
令和8年度一般会計予算 (歳入歳出予算をそれぞれ、100億9,300万円とする。)	可決	P2 P3	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	—
令和8年度国民健康保険事業特別会計予算 (歳入歳出予算をそれぞれ、17億158万5千円とする。)	可決	P6	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—
令和8年度後期高齢者医療事業特別会計予算 (歳入歳出予算をそれぞれ、3億4,448万1千円とする。)	可決	P6	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—
米国とイスラエルに対し即時停戦を求める意見書	否決	P6	●	○	●	●	●	●	○	○	○	●	●	—

#### ●全会一致で可決した議案

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 /：除斥 一：議長（議長は採決に加わりません）

○令和7年度補正予算			
一般会計補正予算（第6号） (839万円を追加し、総額112億5,158万7千円とする)	可決	国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） (1億1,120万1千円を追加し、総額18億2,865万7千円とする)	可決
港湾整備事業特別会計補正予算（第1号） (5万円を追加し、総額2,697万2千円とする)	可決	介護保険事業特別会計補正予算（第3号） (1億2,210万1千円を追加し、総額21億3,354万円とする)	可決
福祉サービス事業特別会計補正予算（第2号） (障害者等居宅介護サービス事業の財源更正)	可決	後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号） (1,485万1千円を追加し、総額3億1,549万7千円とする)	可決
○令和8年度当初予算			
港湾整備事業特別会計予算 (歳入歳出予算をそれぞれ、2,639万5千円とする)	可決	宅地造成事業特別会計予算 (歳入歳出予算をそれぞれ、1,411万2千円とする)	可決
大鐸財産区事業特別会計予算 (歳入歳出予算をそれぞれ、225万7千円とする)	可決	介護保険事業特別会計予算 (歳入歳出予算をそれぞれ、19億9,814万8千円とする)	可決
福祉サービス事業特別会計予算 (歳入歳出予算をそれぞれ、1億147万9千円とする)	可決	農業集落排水事業会計予算 (収益的収支を1,547万7千円、資本的収支を43万円とする)	可決
○条例の一部改正			
行政手続条例の一部を改正する条例 (法律の一部改正に伴い、改正するもの)	可決	多目的交流施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 (利用者の利便性の向上及び使用料等を改めるため、改正するもの)	可決
職員等の旅費支給条例の一部を改正する条例 (国家公務員の旅費制度の改正等に伴い、改正するもの)	可決	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (職員等の旅費支給条例の一部改正に伴い、改正するもの)	可決
証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例 (職員等の旅費支給条例の一部改正に伴い、改正するもの)	可決	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例 (職員等の旅費支給条例の一部改正に伴い、改正するもの)	可決
町長等の給与支給条例の一部を改正する条例 (町職員の給与に関する条例の一部改正に伴い、改正するもの)	可決	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (人事院勧告及び香川県人事委員会勧告を踏まえ、改正するもの)	可決
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (町職員の給与に関する条例の一部改正に伴い、改正するもの)	可決	放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例 (実施時間の見直しに伴い、改正するもの)	可決
○条例の新規制定			
特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例 (特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めるため、制定する)	可決		
○人事			
教育委員会教育長の任命 (任期満了に伴い、藤原一章氏)	同意	教育委員会委員の任命 (任期満了に伴い、引き続き、岡見珠美氏)	同意
監査委員の選任 (任期満了に伴い、濱野雄一郎氏)	同意		
○契約			
工事請負契約の締結 (町道沖之島線道路整備工事（上部工）（第17工区） 契約者：有限会社 高橋建設、契約金額：8,734万円)			可決
工事請負契約の締結 (町道沖之島線道路整備工事（上部工）（第18工区） 契約者：株式会社 土庄土建、契約金額：9,680万円)			可決
○その他			
公有水面埋立てについて (県道屋形崎小江洲崎線の整備工事に伴う公有水面埋立)	可決	公の施設の指定管理者の指定 (土庄町コミュニティセンターほか10件)	可決
○議員発議			
議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (町職員等の旅費支給条例の一部改正に伴い、改正するもの)			可決

#### 1月臨時会の審議結果

○専決処分		○補正予算	
令和7年度一般会計補正予算（第4号） (2,900万円を追加し、総額110億6,129万7千円とする)	承認	令和7年度一般会計補正予算（第5号） (1億8,190万円を追加し、総額112億4,319万7千円とする)	可決



### 【建設課】

#### 沖之島離島架橋事業

今年1月に工事進捗状況の報告や橋完成後の島内道路の整備などについて住民の方と協議を行った。救急搬送体制を最優先の課題と考え、消防の搬送車両を沖之島まで持ち込み現地調査を行ったところ、現状の道路幅員では救急車が島内を通行することは困難であった。当面の体制として、沖之島から救急要請があった場合には、救急車と搬送車の2台体制で出動する。

今後の道路整備方針としては、搬送車両が円滑に島内を通行できるように、幅員が狭い箇所やカーブ区間の改良、道路幅員を確保するための水路蓋掛けなどの整備を優先していきたいと考えている。

**問** 【濱野】橋の部分については車両と歩行者の通行区分は。

**答** 5mの幅員のためセンターラインは引かず、両サイドに白線を引き対応する。

### 【商工観光課】

#### ベストツーリズム ビレッジの認定

国連世界観光機関の総会において、観光を通じて、文化遺産の保全や持続可能な開発に取り組む優良地域と認められ、65カ国、270地域の中から土庄町と小豆島町が認定を受けた。日本でこれまでに8カ所認定されており、中国四国地方では、初めての認定となった。

**問** 【大野】世界に名前が知れ渡ることは良いが認定による他のメリットは。

**答** 海外の方に知名度が向上したのが大きい。今後、観光地として選択してもらえるように関係人口や誘客に繋げていきたい。

### 【企画財政課】

#### 町営バス(豊島・四海) 運行見直し

豊島のシャトルバスについて島民の日常的な移動手段としての利便性を確保するとともに、観光客にも利用しやすい公共交通とするため、運行体制の見直し、輸送力強化など、総合的な対策を図る。

令和8年度から運行台数を1台から2台とするため1台購入する予定。それに合わせ、運転手を1名増員し、3名体制での運行を考えている。

四海線については、運行の効率化、乗り継ぎ時間を考慮し、ダイヤの一部を改正する。

**問** 【石井】豊島シャトルバスの運転手の勤務形態は。

**答** 収入としても安定するように1人当たり月20日間程度の勤務を想定している。



四海線を運行する町営バス

### 【企画財政課】

#### ユカリノSPACE小豆島 使用料等の改正

島外から訪れるワーケーションなどによるビジネスマン、リモートワーカーに加え、帰省中の方、さらにはフィールドワークや卒論調査のために島を訪れる大学生などによる交流人口や関係人口を増やし、島内外の交流促進を図るため、使用料を島内利用者と統一する。また、休室日を現在の水曜日から日曜日に変更する予定。

### 【総務課】

#### 地理空間データ 連携基盤利活用事業

高松市が独自で構築した地理空間データ連携基盤を共同利用することにより、多額となる構築費や運用費を抑えて、さまざまなWebアプリ(空き家、防災情報等)を開発、使用できるものとなる。掲載したデータから、必要とする情報を選択すると、地図上に該当する場所が表示され、それをクリックすると、詳細な情報が表示されるようになる。

**問** 【森】避難行動要支援管理などでプライバシーの観点は。

**答** 登録された方の個人情報には、基本的には、掲載しない。

### 【総務課】

#### 消防団湊崎分団屯所

屯所は、昭和50年に旧耐震基準で建築されており、約50年が経過し、老朽化が進んでいる状況である。湊崎地区自治会連合協議会と協議し、旧湊崎小学校グラウンド(旧湊崎幼稚園側)の一部に建設の要望があった。

今後は、建設の計画を立案し、地域の関係者と共に協議していく。



築50年経過している屯所

# 各委員会の



2月18日開催

## 教育民生常任委員会

### 【住民環境課】

#### 衣類・不用品等のリユース リサイクル実証実験の結果

可燃ごみで排出される衣類、まだ使用することができる陶器類、日用品類、おもちゃ・ぬいぐるみ類、使用済み小型家電については、各地区公民館や町役場の方で回収しているものを回収対象とした。

持ち込まれた品質品数については、8591品、リユースとして引き取られたものが2126品、リユース率は24.7%となった。結果を踏まえて、今後のごみの排出量減量化に向けて検討する。



回収された衣類

### 【住民環境課】

#### Jクレジット制度

省エネルギー設備の導入や、再生可能エネルギーの活用、森林整備などにより削減されたCO<sub>2</sub>等の削減量を、国が「クレジット(価値)」として認証する制度であり、認証されたクレジットは、市場取引などにより売買することが可能となる。脱炭素の推進に加え、自主財源の確保の観点からも、本制度を活用していきたい。

**問** 【川本】企業がクレジットを購入する目的は。

**答** 年間エネルギー使用量が一定規模以上の事業者は、国に対してCO<sub>2</sub>の排出量を報告する義務がある。自社で排出抑制の努力はするが、削減しきれなかった部分についてクレジットを購入して、自社の排出量を相殺する。

### 【生涯学習課】

#### 高見山公園施設長寿命化計画

平成3年の開設から約34年が経過し、老朽化が進行している。特に冒険の森内にあるドラゴンロードでは、一部閉鎖区間が生じている状況である。

このような現状や各施設の利用状況等を踏まえ、今後の施設のあり方や計画的な修繕について検討していくため、高見山公園の長寿命化計画を策定したい。

**問** 【鈴木】今後人口減を考えると縮小の方向しかないのでは。ドラゴンロードを廃止する考えは。

**答** 施設の現状や利用状況を考慮しながら今後の施設の在り方についても計画策定の中で考えていく。

### 【健康福祉課】

#### 子ども・子育て支援金制度

安心して子育てできる社会の実現を目指して、子育て支援の抜本的拡充に取り組むため、国が新たに創設した制度である。

これにより、令和8年度以降、各医療保険者(国民健康保険、会社の保険、後期高齢者医療等)は、保険料等とあわせて、被保険者から支援金を徴収し、国に納付することが義務化された。

支援金の率は、各医療保険者が設定することになっている。土庄町国保においては、県が示す標準保険料率を用いて試算した結果、支援金の一世帯あたりの年間平均は、国保全体では3,575円(1カ月298円)で、1,000円未満の世帯が最も多くなった。

なお、一人世帯で7割軽減適用の場合は、年間500円(月額41円)の見込みである。

### 【教育総務課】

#### こどもさくら公園整備工事

造成工事の工期を令和8年3月27日としているが、全体の進捗率は約75%となる見込みであり、繰越工事となる。また、電気工事、舗装工事については、今年度発注見込みであるが、造成工事と同様に繰越予定であり、全体としての工期は6月下旬を目途に工事を進めている。防災トイレについては、新年度予算において、離島活性化補助金を活用して、整備をする予定。

**問** 【川本】外灯は何カ所、設置予定か。

**答** 3ヶ所に設置予定。安全面も考え、防犯カメラも設置する。

### 【生涯学習課】

#### 土庄第二体育館 長寿命化改修事業

体育館は、昭和50年度に建築された鉄骨鉄筋コンクリート造の2階建てであり、約50年が経過している。外壁には爆裂が見られ、屋根防水も劣化しており、老朽化が著しく進行している。照明設備には水銀灯が使用されているため、今後ランプの不足などから照明設備の保守が困難になる。

施設利用者の安全を確保するとともに、将来にわたって長く施設を使い続けるために、体育館の長寿命化を行う予定。

**問** 【井藤】外壁の爆裂により事故は起こっていないのか。

**答** 前回実施した屋根の排水工事を行った際、足場を組んだ周辺の危険箇所については、あらかじめ除去しているので事故等の報告はない。

**問** 【岡本】耐震基準は大丈夫か。

**答** 土庄高校として県が所有していた段階で、耐震改修が行われている。

# 一般質問

議員1人につき3つ以上の質問がある場合は、そのうち2つ(◆マークのもの)の内容を掲載しています。全文は、二次元コードを利用し、町ホームページでご覧ください。

	<p>おおの かずゆき <b>大野 一行</b> . . . P11</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆土庄高校跡地とこどもさくら公園の高潮対策の地上げ案件と完成した排水ポンプの設備機能</li> <li>○町営住宅使用料の滞納案件</li> <li>○持続可能な観光地(GDアワード)シルバー賞を受賞した今後の観光行政</li> </ul>
	<p>おがわ つとむ <b>小川 務</b> . . . P12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地方公務員の副業・兼業制度</li> </ul>
	<p>みやはら たかまさ <b>宮原 隆昌</b> . . . P13</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自治会管理施設のLED照明への改修工事に十分な補助を</li> <li>◆土庄港の再整備</li> </ul>
	<p>すずき みか <b>鈴木 美香</b> . . . P14</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆いきいき百歳体操</li> <li>◆住宅について</li> <li>○子ども議会</li> <li>○薪ストーブ推進</li> </ul>
	<p>おかもと ますみ <b>岡本 真澄</b> . . . P15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆瀬戸内国際芸術祭</li> </ul>
	<p>ふくもと たつお <b>福本 達雄</b> . . . P16</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆夜間観光</li> <li>◆アウトドア観光の振興</li> </ul>
	<p>ふくもと こうた <b>福本 耕太</b> . . . P17</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆町単独の補聴器購入補助の実施</li> <li>◆まちなか道の駅(仮名)建設にかかる費用</li> <li>○物価高騰給付金(商品券給付)のコスト</li> <li>○会計年度任用職員の4月遡及</li> </ul>



おおの かずゆき  
大野一行 議員



# 土庄高校跡地とこどもさくら公園の 高潮対策の地上げ案件と完成した 排水ポンプの設備機能

**問**

過去に人的被害、家屋被害の災害は、何件発生しているのか。

**答**

総務課長

昭和51年台風に伴う土石流等により、死者6名、建物の全半壊が54戸、床上床下浸水が929戸。平成16年台風に伴う高潮により、床上浸水698戸、床下浸水が615戸発生した。

**問**

私は高潮対策と表現しているが津波対策でないければ国庫補助が出ないと感じている。高潮対策では地上げができないのか。

**答**

総務課長

今回に関しては、津波高を基準として対策を行っている。高潮対策での国庫補助事業になると基準が変わり、計画している高さ以上に整備する必要があるため、現在のところは津波高を基準として行っていく。

**問**

現在の2カ所の地上げは、現実に起こったことなので、工事については賛成している。地上げの周りの土塀は海水が上がってきた場合、必ず浸食されると思う。さくら公園の家屋側はコンクリート壁で止められている。予算の関係もあるが

何らかの強化をすべき。今後の方針は。

**答**

総務課長

整備に関しては盛り土工の指針に準じて設計している。強化するとなれば安価の方法としてコンクリートブロック積みがある。施工するとなれば概算の工事費は2千4百万円程度かかる。周辺の家屋との離隔が十分ある現状では、必要性は乏しいと考える。将来的に建物などを必要に応じて検討していく。

**意**

見た目の安全も大事である。将来的には安全安心のため整備してほしい。

**問**

排水ポンプについては、過去の高潮の経験から、近隣住民から聞き取りすると東内浜ポンプが起動しなかったことで海水がより多く浸水してきたと記憶されている。このポンプと土庄高校跡地に整備されたポンプの機能を伺う。

**答**

建設課長

ザグザグ土庄店舗裏にある東内浜ポンプ場は、天神地区など含む17.7ヘクタールの集水面積に対応、1分間に約130トン排水する機能を備えている。土庄第二体育館裏に整備された東内浜ポンプ場は、1分間に約5トン排水する。

平成16年の高潮被害は高潮が想定を大幅に上回り、当時、未整備であった防潮壁を越えて、市街地へ海水が流入したもので、東内浜ポンプ場自体が水没し、物理的に稼働不能状態に陥ったのが実情



東内浜ポンプ場(昭和60年完成)

この被害を教訓とし、ポンプ場の電気操作盤等の嵩上げ整備、緊急時において自動運転機能を搭載するなどの体制を構築している。また、防潮壁や護岸の整備も計画的に推進し、津波や高潮に対する防災機能の強化を図っている。



土庄町総合  
ハザードマップ

# 地方公務員の 副業・兼業制度



おがわ つとむ 議員  
小川 務



**問**

今年4月から国家公務員において、兼業の規制が緩和される。本町職員の副業・兼業について、現状どのように取り扱っているのか。

**答**

総務課長

正規職員は、服務規定があるため副業や兼業は原則禁止。任命権者の許可を得れば認められる場合もある。

会計年度任用職員、パートタイム職員については、副業、兼業に制限はない。

**問**

現在、副業されている職員は、どれぐらいいるのか。

**答**

総務課長

正規職員4名である。いずれの場合も、許可を得て従事している。

**問**

公務員の副業兼業は、地域貢献や社会貢献の促進に繋がると考えている。職員が長年の職務で養ったスキルを地域に還元することは、地域にとっては大きなメリットとなるのではないかと。職員が地域に資する副業に取り組まれている例は。また職員に対し積極的に地域に出てもらう施策は。

**答**

総務課長

職員の専門スキルを活かした教育関係の出前授業や報酬を得ての部活動の指導などが考えられる。

**問**

若年層の公務員試験、志願者数は減少傾向にある。総務省の調査によると、地方公務員の競争率は、2014年度に7倍だったのが、2023年には4.6倍まで減少している。特に人口減少や、若年層の流出が進む地域の自治体においては、優秀な人材の確保が何よりも重要な課題だ。職員募集について、副業兼業によって公務以外でも、地域に貢献できることを打ち出せないか。

**答**

総務課長

職員は全体の奉仕者として、まずは公務に全力を尽くし、住民の皆様から信頼を確保することが最大の責務である。公務以外の活動による貢献を積極的に打ち出すことは、現段階では難しいと考えている。

**問**

民間企業においては課題解決や新規事業の展開、DXの推進のため、高度な専門知識や豊富な経験を持った専門家を副業・兼業人材として登用する動きが進んでいる。今後、副業、兼業人材を活用する考えはあるか。

**答**

総務課長

外部人材の活用を支援する制度として、総務省の地域活性化企業人制度や、内閣府の地方創生人材支援制度がある。これらの制度を活用した外部人材の受け入れについて、現在、準備を進めている。



就業後に子どもたちにサッカー教える職員



みや はら たか まさ  
**宮原隆昌** 議員



## 自治会管理施設のLED照明への 改修工事に十分な補助を

問

避難所にも指定されている各地区の自治会施設の多くは蛍光灯を使用しており、2027年末には製造が禁止されると将来的に入手困難や修理部品の不足が予想される。現状の自治会施設整備補助成金の補助は、事業費の3分の1以内の額で、上限は100万円となっているが、人口減少により運営が厳しい自治会に対して大きな負担となる。LED照明改修に限った補助率及び補助金の上限の見直しについて検討が必要と思うが。

答

総務課長

過去の整備実績や他の自治会との公平性を保つ観点から、現時点においては、現行制度の枠組みを、維持して参りたい。

意

今後大きな問題になると思うので、各自治会に早めに現状での補助制度の説明をお願いしたい。

※土庄町自治会振興助成金とは…

町民福祉の向上を図るため、町内の自治会（町民が加入し、地域における自治共同体として活動している団体で町長が認めたもの）に対し助成金を交付する。

（補助例）

- ・自治集会施設を維持するための修繕等に要する経費
- ・自治集会施設に附帯する備品購入に要する経費

問

土庄港については、高速艇切符売り場の耐震化、ターミナルビルの有効活用、フェリー乗り場の屋根などの一般質問をしてきたが、そのような中、隣町において、池田港の再整備事業がスタートしている。「小豆島の玄関口池田港再整備事業」として、新バースの建設やモビリティ貸し出し施設、通路シエルトなどが整備され、イベントの開催や、新航路の開設を目指した試験運行などの計画が掲載されている。

一方、土庄港周辺では、ホテルの解体や店舗の閉店が続いており、今後の土庄港の利用賑わいについて、大変危機感を覚えているが、町長は小豆島の玄関口としての土庄港の整備についてどのように考えているのか。

## 土庄港の再整備

答

町長

土庄港は、高松、岡山、豊島・宇野への複数航路を持ち、高速艇も就航しているなど、小豆島を代表する港である。その港の機能をもう少し充実したものにするとともに、来訪者や利用者にとって魅力のあるウォーターフロントとして形成することが、本町のみならず、小豆島の発展のために必要である。

町が管理する港務所やターミナルビルなどがウォーターフロント全体の魅力向上を図るために

は、港の関係者である県や民間事業者も巻き込んだ事業を立ち上げていく必要がある。来年度予定している調査事業は、こうした展望に立ち、実施しようとするもので、すでに県や民間事業者と様々な協議をスタートさせている。土庄港再整備の全体像を、ハード、ソフトの両面から検討し、官民の役割分担なども調整したい。民間企業のアイディアや投資も最大限活用し、土庄港が小豆島の玄関口としての役割を果たし続けられるよう、再整備や賑わいづくりに取り組む。



観光客も多く訪れる  
土庄港周辺エリア

# いきいき百歳体操



鈴木美香 議員



## 問

高知市発祥と言われる「いきいき百歳体操」介護予防目的に始まったそう  
で、軽い体操で誰でも参加でき、引きこもり気味の高齢者が出かけるきっかけにもなり、体操後の交流も楽しみの一つと聞いている。土庄町でも、「いきいき百歳体操」を実施してはどうか。

## 答

健康福祉課長

「いきいき百歳体操」は、平成14年に高知市が筋力向上を目的とし開発した体操で、おもりを首や足首に巻き付け、椅子に座った状態で、手足を動かす、無理なく筋力を鍛えることが出来る運動である。

当初、本町でも導入を検討したが、実施に至らなかった。しかし、来年度からの実施に向け、準備を進めており、体操に使用するおもりやDVDを購入済み。先般、開催した介護予防サポーターの集いで、この体操を紹介する、「取り組んでみたい」という前向きな声をいただいた。実施にあたり住民グループへ包括支援センターの職員が出向き定着支援を行うことを検討している。



元気よく百歳体操

# 住宅について

## 問

先般、新聞に中高年ひとり暮らし女性の住宅問題が取り上げられていた。土庄町で、女性に限らず住む部屋探しについて困っている相談はあるのか。

## 答

健康福祉課長

本町において、性別や年齢などを理由に賃貸物件への入居を断られたなどの相談はないが、住まいに関する相談としては、住環境の不具合や安価な住まいを求めている相談があった。相談が寄せられた場合、町営住宅の空き状況を確認、空き家バンク紹介、高齢者には養護老人ホームへの入所の検討、生活困窮者には生活保護相談を行うなど、相談者の状況に応じた対応をしている。

香川県では、生活困窮者自立支援法に基づいて

## 問

で、離職等により住居を失った方などに賃貸住宅の家賃を支給する住居確保給付金制度を設けている。高松市には緊急時の一時滞在場所として利用できる民間の無料低額宿泊所や住まいの支援を行う団体もある。

## 答

企画財政課長

小豆島町は行政が間に入り、空き家を借り上げ、改築やメンテナンスをして貸し出すという事業をしていると聞かすが、土庄町でも、空き家を借り上げ改修後、準公営住宅的に貸し出すのはどうか。

小豆島町の空き家改修賃貸事業、他県、他市町の事例も参考に幅広く、検討していく。



おかもと ますみ  
岡本真澄 議員



## 瀬戸内国際芸術祭

問

昨年で瀬戸芸は15年の節目を迎えた。これまで観光や救急体制、住民の暮らしを守るゾーニングなど様々な議論があった。

瀬戸芸は単なる観光イベントでなく、移住者が増えるなど人口減少に一定の歯止めをかける役割を果たしてきた。来場者数などの数字だけでなく、町民が地域への誇りを感じる等の成果をどのように総括しているか。

答

今回は過去最大の全17エリアで開催、全体の経済波及効果は約19.5億円、来場者は約108万人、小豆島・豊島にはそれぞれ約14万人が訪れた。

成果は、伝統文化の再評価と地域経済の活性化であり、国内外の交流で小豆島・豊島が日本の文化や芸術を世界に広める場にもなっている。さらに、芸術祭を機に移住・定住した方々がいることも大きな効果であり、今後も地域と島の魅力を引き出し、さらなる発展を目指したい。

問

近年、評価された「ベストツーリズム・ビレッジ」や「グリーン・デザイン・アワード」のシルバークロウズ賞のシルバークロウズ賞は、瀬戸芸での成果を町が国際評価に結びつけた結果とも考えられるが。

答

地域との連携や文化伝統の継承など、この認定を受ける大きな要因だったと考えている。

問

外からの評価が高くても、価値がわかりにくいと地域への誇りに繋がらないのではないかと。この「凄さ」をどう発信していくのか。たとえば、授業で取り入れるよう教育委員会と連携してはどうか。

答

商工観光課長

世界的な評価が住民に身近なものかはまだまだだが、アワードが評価したのは住民が守ってきた豊かな自然や伝統文化、歴史、営みそのもの。世界からの称賛をわかりやすく伝え、地域の誇りを次世代へ繋ぐツールとして活用し、子どもたちにもわかりやすく両町連携しながら、伝えていきたい。

問

瀬戸芸の作品展示がない地域では盛り上がり温度差を感じるとの声もある。だが、そうした地域にも世界から評価された自然や伝統文化があり、少しでも地域を盛り上げたいという思いを持つ方々がいる。

例えば自治会等から「空き家を活かしたい」等の具体的な申し出があった際、町民の思いにどう寄り添うのか。

答

商工観光課長

地域からの申し出は大変ありがたく、空き家情報や住民の思いは、実行委員会へ伝えていく。全地域への作品設置は難しいが、おもてなしや案内スタッフ等、関わり方は展示だけではない。作品がない地域でも、瀬戸芸とコラボした観光コースの造成やイベント企画など、皆さんの意見を我々に届けてほしい。

意

次回の開催に向け、町民の声にしっかりと寄り添い、歩んでいける行政であることを今後も強く願います。



来島者へのお見送り



地域の方々と作品制作

# 夜間観光



ふくもと たつお  
**福本達雄** 議員



**問**

夜間観光をどのように位置付けているのか。

**答**

商工観光課長

観光産業は、本町の重要な基幹産業と位置付け、第7次総合計画において、観光客の増加及び宿泊者数の増加を目標値としている。日帰り観光の割合が増え、町内への経済波及効果は限定的となることから宿泊に繋がる夜の魅力づくりは重要な課題であると認識している。

令和6年に策定した小豆島観光ビジョンにおいて、「小豆島ならではの

**問**

体験コンテンツの強化を図る」ことを基本戦略の一つに掲げ、アクションプランの中でも、「灯り・光・花火」などを活用した夜のコンテンツの造成やイベントを実施すると位置付けている。

**答**

商工観光課長

持続可能な観光の推進においては、環境も、審査項目の1つである。自然を活かした夜型コンテンツとしての可能性を今後探っていききたい。

夜間観光について、ウミホテルに着目してはどうか。

※ウミホテルとは…

夜行性で、二枚貝のような殻を持ったミジンコで青く発光する甲殻類である。日本の太平洋沿岸に幅広く生息する

**問**

アウトドア観光を重点施策として位置付けているのか。

**答**

商工観光課長

アウトドア振興については、両町で策定した小豆島観光ビジョンにおいて、体験プログラムやコンテンツの造成をアクションプランで定めている。

今年度からは、アウトドアに特化した地域おこし協力隊を採用するなど、アウトドア振興による観光の推進を図っている。

**問**

民間事業者との連携・支援策について取り組みがあるのか。

**答**

商工観光課長

大坂城残石記念公園で、ヨットクルージング、SAP、ホビーなど海の資源を活用した、アウトドアイベントを実施。また、持続可能な観光の推進の一環として障害のあるなし、年齢などにかかわらず、誰もがアウトドアを楽しめるコンテンツを取り入れたアクセシブルアウトドアを実施した。

**意**

提案として、空き家活用型の拠点づくりをお願いしたい。

# アウトドア観光の振興



クライマーの憧れ赤嶽

海だけではなく山の魅力も多い小豆島！近年ではクライミングやハイキングのコースとしても注目されている。



皇踏山第1展望所



ふくもと こうた  
福本耕太 議員



## 町単独の補聴器購入補助

問

来年度から県は、加齢性難聴者への補聴器購入に上限3万円の補助を実施する。加齢性難聴は放置すると、認知症を進行させる。

そこで、町単独でも追加補助を行い、県の購入補助に上乘せし、購入補助率を引き上げてはどうか。

答

健康福祉課長

町単独上乘せ補助は、現時点では考えていない。まずは、本事業を通じて対象者のニーズの把握や事業効果を見極め

る。来年度は購入希望者向けに、介護予防教室等で、県から派遣される言語聴覚士による加齢性難聴に関する講義の機会を設け、補助対象となった

方の申請書類の取りまとめや連絡調整などを行う。介護予防という観点から、早期発見の重要性や、適切な補聴器の導入が高齢者の日常生活の質の向上につながることを周知する。

意

全国では、すでに市町村単独で購入補助を実施している町もある。認知症の予防事業として検討を求めたい。

## まちなか道の駅（仮名）

### 建設にかかる費用

問

公共施設跡地等利用検討特別委員会において、町は旧庁舎の取り壊しと「まちなか道の駅（仮名）」の建設計画を報告した。

そこで大きく3点について問う。1点目は、「旧庁舎の取り壊し」について①費用総額②国庫補助の有無③次の建設計画があれば、取り壊しに国庫補助がつくのか。

答

総務課長

①不明。最低でも1億4千万円程度は必要。さらに増加可能性あり。②国庫補助はない。地方債を発行する。③全体計画の中で、次の建設計画には国庫補助がある。計画の中で旧建築物があれば、次の建設ができないため「取り壊し」も一連の計画であると認められれば、国庫補助の対象になる。



旧土庄町役場

問

2点目は、「道の駅」の建設費用総額と借金の返済計画は。

答

総務課長

今のところ決まっていないので現時点では答えられない。

問

3点目は、公設民営を検討しているようだが、募集・運営・管理などランニングコストの総額と採算の用途は。

意

今後、著しい経済発展が見込めない中で、観光客誘致のために巨額の予算を投資してスクラップ・アンド・ビルドを行うことは、町のためには考えられない。

答

総務課長

民間の役割や費用負担の枠組みをどのように設定するかによって、将来的費用の考え方が変わってくる。町の負担もある程度、必要と考えている。



撮影 上田亜樹氏

◆表紙について

表紙の写真は土庄港の中央棧橋に停泊する「おりいぶ丸」の貴重なカラー写真で、カメラと船舶が趣味の三浦和明氏が撮影したものである。小豆島が観光地として全国的に知られ始めた昭和28年6月1日に土庄～高松を60分で就航した。当時としては珍しいスマートな船型に冷暖房を完備し、全客席が椅子席であった。

また、左の航空写真は東港の埋め立てがスタートした昭和30年代で塩田の面影は残っており、ホテル等はまだ建設されていない。

議会を傍聴してみませんか？

次回定例会は**6月中旬**の予定です。  
**場所：土庄町役場4階 議場**  
 日程等は町ホームページで6月上旬頃にお知らせします。  
 傍聴席での傍聴のほか、ロビーでモニターによる傍聴、後日配信される録画を視聴することができます。  
 YouTube「**土庄町議会**」で検索を。

詳しくは議会事務局へ  
 TEL(0879)62-7011

4月	3月	2月	1月
6日 議会広報特別委員会	27日 小豆島中央病院企業団議会定例会	26日 公共施設跡地等利活用検討特別委員会	27日 議会運営委員会
24日 総務建設常任委員会	17日 3月定例会本会議	20日 香川県後期高齢者医療広域連合議会定例会	19日 1月臨時議会
23日 小豆地区広域行政事務組合議会定例会	10日 議会運営委員会	18日 香川県離島振興市町村議会議長会定期総会	17日 総務建設常任委員会
19日 行政視察	9日 教育民生常任委員会	17日 教育民生常任委員会	16日 香川県離島振興市町村議会議長会定期総会
	5日 総務建設常任委員会	16日 香川県離島振興市町村議会議長会定期総会	12日 小豆郡町議会議長会定例会
	4日 3月定例会本会議	12日 小豆郡町議会議長会定例会	6日 総務建設常任委員会

議会の動き  
 令和8年1月19日～令和8年4月21日

《編集後記》

今年も春の風物時である「戸形のこいのぼり」が海の上を泳ぎました。見学者も多く、関係者の皆様に感謝いたします。

さて、前回の町議会選挙から早3年が過ぎました。議会だより表紙の「移り変わる土庄町」シリーズも町民の皆様へ活動について少しでも興味を持っていただければと始めたものです。

今後も親しまれ、読まれる「議会だより」の誌面づくりに広報委員7人層努力してまいります。



《宮原 隆昌 記》

議会広報特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 宮原 隆昌 |
| 副委員長 | 石井 亨  |
| 委員   | 大野 良一 |
| 委員   | 井藤 一行 |
| 委員   | 小川 茂信 |
| 委員   | 岡本 真澄 |